

CITIZEN®

取扱説明書

このたびは、シチズンウォッチをお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いいただきます
ようお願い申し上げます。

なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

シチズンホームページ(<http://citizen.jp/>)でも操作説明がご覧いただけます。

また、モデルによっては、外装機能（計算尺、タキメーターなど）が搭載さ
れているものもあり、取扱説明書に記載されていない外装機能の操作も同様
にご覧いただけます。

機種番号の見かた

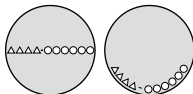
時計の裏ぶたに、アルファベットを含む 4 ケタと 6
ケタ以上からなる番号が刻印されています。（右図）

この番号を「側番号」といいます。

側番号の先頭の 4 ケタが機種番号になります。

右の例では「△△△△」が機種番号です。

刻印の位置の例



時計によって表示位置は
異なります。

安全にお使いいただくために（必ずお読みください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

絵表示の意味をよく理解してから 32 ページ～ 41 ページを必ずお読みください。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 危険	この表示の欄は、 「死亡または重傷などを負う可能性が高い」 内容です。
 警告	この表示の欄は、 「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」 内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

ご使用になる前に

この時計は、光エネルギーを電気エネルギーに変換することで駆動しています。

ご使用になる前に、時計を光に当て時計を十分に充電してください。
詳しくは、「充電時間の目安」(→ 18 ページ) を参照してください。

この時計には電気エネルギーを蓄えることのできる二次電池が使用されています。この時計に使われている二次電池は、水銀など有害物質が一切使われていないクリーンエネルギー電池です。一度充電完了すると、約 6 ヶ月間は充電しなくても時計は駆動します。

時計を快適にお使いいただくために、時計が停止する前にこまめに充電するようにしてください。

この時計は、どんなに充電しても過充電の心配はありません（過充電防止機能付き）。

毎日の充電を心がけてご使用されることをおすすめします。

◆ 保護シールについて

時計のガラス部分や金属部分（裏ぶた、バンド、中留め）にシールが貼られているときは、ご使用の前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

◆ バンド調整について

お客様ご自身で時計のバンド（金属やゴム）の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする恐れがあります（製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く）。バンドの調整は、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口にて承っております。その他のお店では 有料もしくは取り扱っていない場合があります。

◆ 特殊な構造のりゅうず / ボタンについて

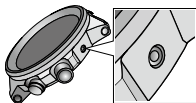
モデルによっては、誤操作を防ぐため、次のような構造のりゅうずやボタンの場合があります。

ねじロックりゅうず・ねじロックボタンの使いかた

時計を操作するときは、ロックを解除してください。

	ロックを解除する	再びロックする
ねじロック りゅうず	 りゅうずが飛び出す まで、左に回す	 りゅうずを押し込 みながら右に回し、 しっかり締める
ねじロック ボタン	 ねじを左に回し、 止まるまでゆるめる	 ねじを右に回し、 しっかり締める

隠しボタンの使いかた



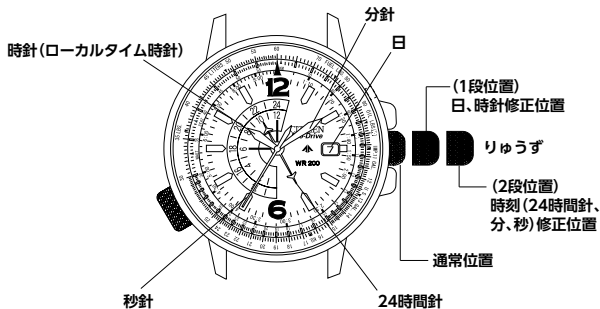
ボタンを押すときは、先の細いものなどで押してください。

- ・金属製のもので押すとボタンを傷つける恐れがありますので注意してください。

もくじ

ご使用になる前に	4
各部の名称	9
時刻、カレンダーの合わせかた	10
デュアルタイムの使いかた	12
エコ・ドライブ特有の機能について	14
充電警告機能	16
クイックスタート機能	16
時刻合わせ告知機能	17
過充電防止機能	17
充電時間の目安	18
計算尺の使いかた	20
エコ・ドライブ取り扱い上の注意	32
防水性能について	34
お取り扱いにあたって	36
保証とアフターサービスについて	42
製品仕様	44
お問い合わせ窓口	46

各部の名称



- ・ お買い上げいただいた時計とイラストは異なる場合があります。
- ・ ソーラーセルが文字板の下に配置されています。

時刻、カレンダーの合わせかた

◆ 時刻を合わせる

- (1) 秒針が0秒の位置でリ्यूズを時刻修正位置(2段位置)まで引き出します。
*リ्यूズを引くと秒針が止まります。
- (2) リ्यूズを回して、24時間針と分針を現在の時刻に合わせます。
*このとき、時針は24時間針と連動して動きます。
- (3) 時報などに合わせて、リ्यूズを通常位置に戻します。リ्यूズを戻すと、秒針が動き始めます。
- (4) リ्यूズを日修正位置まで引き出します(1段位置)。
- (5) リ्यूズを右に回し、時針を現在時刻に合わせます。午前と午後をまちがえないようにしてください。おおよそ深夜0時に、日が切り替わります。
- (6) 修正後、リ्यूズを通常位置に戻します。

◆ 日を合わせる

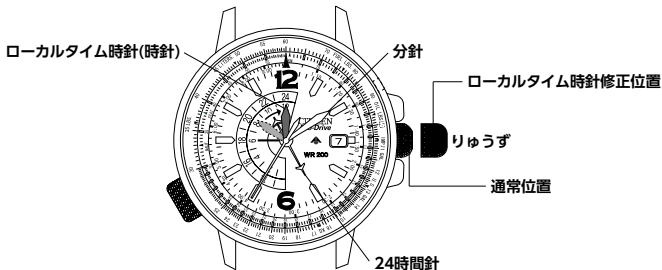
- (1) リ्यूズを日修正位置まで引き出します。
- (2) リ्यूズを左に回して日を合わせます。
- (3) 修正後、リ्यूズを通常位置に戻します。

*日は時針と連動して動きます。時針が深夜0時に近づくと日が変わり始めます。デュアルタイムとして使用する場合はご注意ください。

*午後9時から午前1時の間は、日の修正をしないでください。
日が切り替わらない場合があります。

デュアルタイムの使いかた

この時計の時針は、時計の動きを止めずに動かすことができます。そのため、24 時間針と時針を異なる時間に設定することで、デュアルタイム機能として使用できます。時刻合わせを行うと、時針は「ローカルタイム」の時刻を示します。



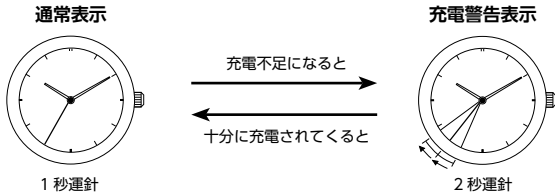
◆ ローカルタイム時刻を合わせる

- (1) リューズをローカルタイム時針修正位置まで引き出します(1段位置)。
- (2) リューズを右に回し、ローカルタイム時針を合わせます。ローカルタイム時針は右回りに1時間ずつ修正できます。午前と午後に注意してローカルタイム時刻を合わせます。
- (3) 修正後、リューズを通常位置に戻します。

*ローカルタイム時針と日は連動していますので、ローカルタイム時針を合わせた後に、日を正しく修正する必要がある場合があります。

エコ・ドライブ特有の機能について

この時計は、充電不足になると警告機能が働いて表示が切り替わります。



充電が十分にされて時刻合わせを行うと

充電不足の状態がさらに続くと

時刻合わせ告知機能

充電が十分に
されて時刻
合わせを行うと



変則 2 秒遅針

停止

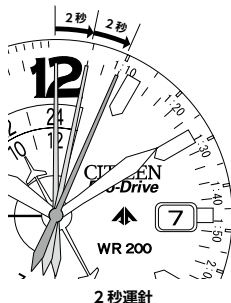
時計を光に当てるとクイックスタート
機能が働き、針がすぐに動き始めます。

◆ 充電警告機能

充電不足になると、秒針が2秒運針をはじめ、充電不足になったことを知らせます。このとき時計は正確に動いていますが、充電不足が3日続くと時計は停止してしまいます。光を当てて充電し、もとの1秒運針に戻してください。

◆ クイックスタート機能

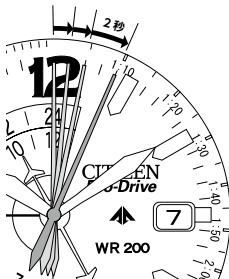
充電がまったくされていないと時計は停止します。光を当てるとすぐに時計の針が動きはじめます。
(光の明るさによって、針が動き出すまでの時間は異なります)



◆ 時刻合わせ告知機能

充電不足で停止した後、再び光を当てると、クイックスタート機能が働き、針は動き出しますが、秒針が変則2秒運針をして正しい時刻が表示されていないことを知らせます。

このような場合は、十分に充電をして、時刻を合わせ直してください。時刻合わせを行わないと、変則2秒運針が続きます。



変則 2 秒運針

◆ 過充電防止機能

この時計は過充電の心配はありません。

二次電池が十分充電されると、それ以上充電されないように、過充電防止機能が働きます。

充電時間の目安

連続して照射した場合の数値です。目安としてご利用ください。

環境	明るさ (lx、ルクス)	充電時間（約）		
		通常に動く状態を 1 日保つ	時計が停止して から通常に 動き出すまで	時計が停止して から充電完了まで
屋外（晴天）	100,000	3 分	36 分	9 時間
屋外（曇天）	10,000	10 分	2 時間	33 時間
30W 蛍光灯 の 20cm 下	3,000	30 分	7 時間	105 時間
屋内照明	500	3 時間	44 時間	640 時間

時計が停止してから充電完了まで…

時計が停止している状態から最大に充電されるまでの時間。

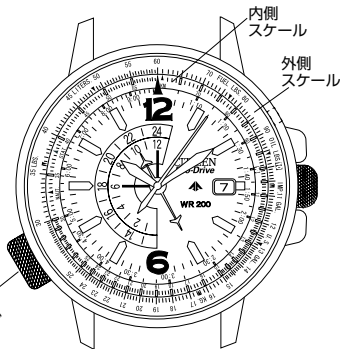
通常に動く状態を1日保つ…

通常運針(1秒運針)で1日動かすために必要な充電時間。

計算尺の使いかた

文字板外周の回転リングを使用して、飛行距離の計算や、一般的な計算などを行うことができます。ただし、この回転リングでは位取りまでは示されません。あくまでも目安としてご使用ください。

外側スケール回転用りゅうずを回転させると、文字板外周の回転リング(外側スケール)が回転します。

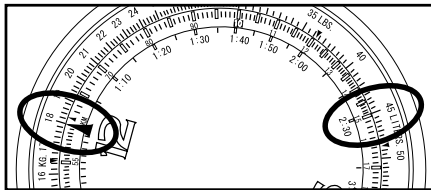


A. 航法計算機能

1. 所要時間の計算

例: 速力180Kt(ノット)の飛行機で距離450カイリを飛行するのに必要な時間は?

答: 外周スケールの18を内側スケールのSPEED INDEX(▲)に合わせます。
この時、外側スケールの45に対応する内側のスケールの所の(2 : 30)が求められます。(2時間30分)

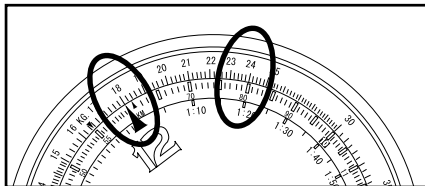


2.時速(対地速度)の計算

例: 飛行距離240カイリ、所要時間1時間20分のときの時速(対地速度)は?

答: 内側スケールの1:20(80)に、外側スケールの24を合わせます。

この時、内側スケールのSPEED INDEX(▲)に対応する18が求められます。(180Kt)

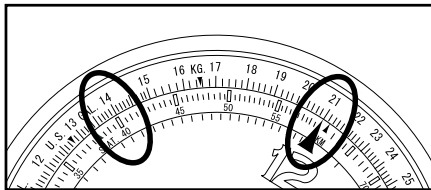


3. 飛行距離の計算

例: 時速210Kt、飛行時間40分の時の飛行距離は?

答: 外側スケールの21を、内側スケールのSPEED INDEX(▲)に合わせます。

内側スケールの40に対応する14が求められます。(140カイリ)

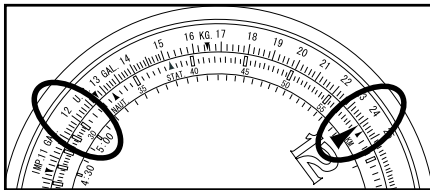


4.燃料消費率の計算

例: 飛行時間30分、消費量120ガロンの時の消費率(ガロン／時)は？

答: 外側スケールの12を、内側スケールの30に合わせます。

SPEED INDEX(▲)に対応する24が求められます。(240ガロン／時)

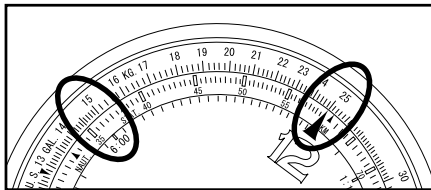


5. 燃料消費量の計算

例: 消費率250ガロン／時、飛行時間6時間の時の所要燃料は？

答: 外側スケールの25を、内側スケールのSPEED INDEX(▲)に合わせます。

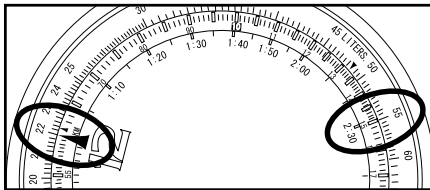
この時、6:00に対応する15が求められます。(1500ガロン)



6.飛行可能時間

例: 燃料消費量220ガロン／時、使用可能燃料550ガロンの時の飛行可能時間は？

答: 外側スケールの22を内側スケールのSPEED INDEX(▲)に合わせる。
この時、外側スケールの55に対応する2:30が求められます。(2時間30分)

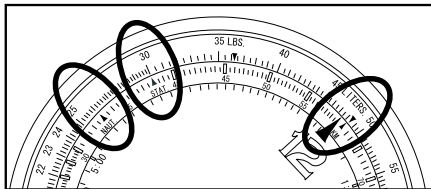


7.換算

例: 30マイルに対するカイリおよびキロメートルを求める場合は？

答: 外側スケールの30を内側スケールのSTAT(▲)に合わせます。

この時、内側スケールNAUT(▲)に対応する26カイリおよび、内側スケールのキロメートル(▲)に対応する48.2キロメートルが求められます。



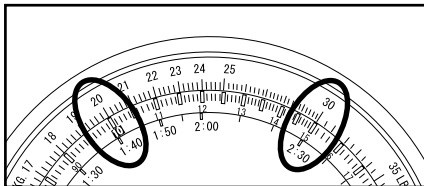
B.一般計算機能

1.掛算の仕方

例: 20×15

方法: 外側スケールの20を、内側スケールの10に合わせます。内側スケールの15に対応する外側の30を読み取り、位取りを考えて、300を求めます。

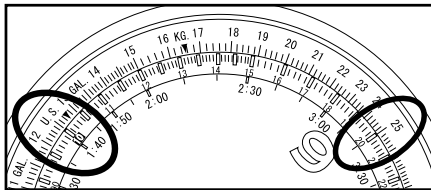
このスケールでは、位取りまでは出ませんので、ご注意ください。



2. 割算の仕方

例: $250 \div 20$

方法: 外側スケールの25を、内側スケールの20に合わせます。内側スケールの $\boxed{10}$ に対応する外側スケールの12.5を読み取り、位取りを考えて、12.5を求めます。

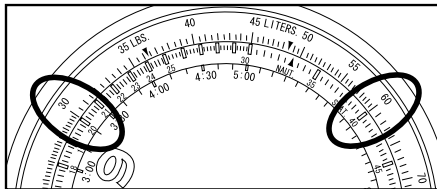


3. 比例の見かた

例: $30/20 = 60/x$

方法: 内側スケールの20に、外側スケールの30を合わせます。

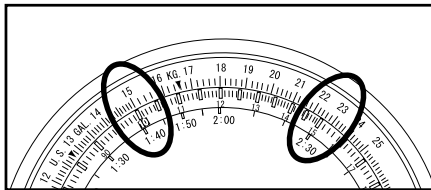
この時、外側スケールの60に対応する内側スケールの40を読み取ります。また、このスケール上の全ての位置で、外側対内側の比は、30 : 20になっています。



4.平方根の求めかた

例: 225の平方根は？

方法: 外側スケールの22.5に対応する、内側スケール上の目盛りと、内側スケールの10に対応する外側スケール上の目盛りが等しくなる点をスケールをずらしながら、15を求めます。



エコ・ドライブ取り扱い上の注意

《時計は常に充電を心がけてお使いください》

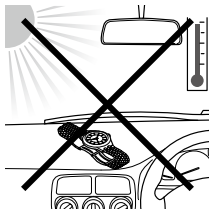
- 日常長袖などを着用していると、時計が隠れて光に当たらないため、充電不足になりやすいのでご注意ください。
- 時計を外したときも、できるだけ明るい場所に置くように心がけると、時計は常に正しく動き続けます。

⚠ 注意 充電上の注意

- ・ 充電の際に時計が高温になると、故障の原因となりますので高温（約 60℃以上）での充電は避けてください。

例)

- 白熱灯、ハロゲンランプなど、高温になりやすい場所での充電
- ※ 白熱灯で充電するときは、必ず 50cm 以上離して時計が高温にならないように注意して充電してください。
- 車のダッシュボードなどの高温または低温になりやすい場所での充電



《二次電池の交換について》

- ・この時計に使われている二次電池は充電を繰り返し行えるため、従来の一次電池のように定期的な電池交換の必要はありません。
ただし、長期間使用されますと、歯車の汚れ、油切れなどにより電流消費が大きくなり二次電池の容量が早くなります。定期的な分解掃除（有料）をお奨めします。

⚠ 警告 二次電池の取り扱いについて

- ・お客様は時計から二次電池を取り出さないでください。
やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤飲防止のため、幼児の手の届かない所に保管してください。
万一、二次電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して治療を受けてください。
- ・一般のゴミと一緒に捨てないでください。発火、環境破壊の原因となりますので、ゴミ回収を行っている市町村の指示に従ってください。

⚠ 警告 指定の二次電池以外は使わないでください

- ・この時計に使われている二次電池以外の電池は、絶対に使用しないでください。
他の種類の電池を組み込んでも時計は作動しない構造になっていますが、無理に銀電池など、他の種類の電池を使い、万一充電されると過充電となり電池が破裂して時計の破損および人体を傷つける危険があります。二次電池交換の際は、必ず指定の二次電池をご使用ください。

防水性能について

警告 防水性能について

- ・時計の文字板および裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、下表を参照して正しくご使用ください。
(1bar は約 1 気圧に相当します)
- ・WATER RESIST (ANT) ×× bar は W.R. ×× bar と表示している場合があります。
- ・非防水時計は、水中や水に触れる環境での使用はできません。
- ・日常生活用防水時計（3 気圧防水）は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。

名称	表示	仕様
	文字板または裏ぶた	
非防水時計	—	非防水
日常生活用防水時計	WATER RESIST(ANT)	3 気圧防水
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST(ANT) 5 bar	5 気圧防水
	WATER RESIST(ANT) 10/20 bar	10 気圧防水、20 気圧防水

防水性能について

- 日常生活用強化防水時計（5 気圧防水）は、水泳などには使用できますが、素潜り（スキndaイビング）やスキューバ潜水などには使用できません。
- 日常生活用強化防水時計（10/20 気圧防水）は、素潜りには使用できますが、スキューバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

使用例



水がかかる程度の
使用。(洗顔、雨など)



水仕事や一般
水泳に使用。



スキndaイビング、マリ
ンスポーツに使用。



空気ポンベを使用する
スキューバ潜水に使用。



水滴がついた状態
でのりゅうずやボタン
の操作。

×

×

×

×

×

○

×

×

×

×

○

○

×

×

×

○

○

○

×

×

お取り扱いにあたって

⚠ 注意 人への危害を防ぐために

- ・ 幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。
- ・ 激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、十分ご注意ください。
- ・ サウナなど時計が高温になる場所では、やけどの恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- ・ バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
- ・ 時計をしたまま就寝しないでください。思わぬけがやかぶれを引き起こす恐れがあります。

⚠ 注意 使用上の注意

- ・ リゅうずは常に押し込んだ状態（通常位置）でご使用ください。リゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかり固定されているか確認してください。
- ・ 水分のついたままリゅうず操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- ・ 万一、時計内部に水が入ったり、またガラスの内面にクモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。

- ・時計の防水性能が高い場合でも、次のことにご注意ください。
 - 海水に浸したときは、真水で洗い乾いた布で良くふきとる。
 - 水道水を蛇口から直接時計にかけない。
 - 入浴するときは時計をはずす。
- ・時計内部に海水が入った場合には、箱やビニール袋に入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品（ガラス、リゅうず、プッシュボタンなど）が外れる危険があります。

⚠ 注意 携帯時の注意

<バンドについて>

- ・皮革バンドやウレタンバンド（ゴムバンド）は、汗や汚れにより劣化します。定期的な交換を行ってください。
- ・皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。（脱色、接着はがれ）また、かぶれの原因にもなります。
- ・皮革バンドの時計は防水時計であっても、水を使うときは時計を外すことをおすすめします。
- ・バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
- ・ウレタンバンド（ゴムバンド）は、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。色落ちするもの（衣類、バッグ等）と一緒に使用する場合はご注意ください。また、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。弾力性がなくなり、ひび割れを生じたらお取替えください。

お取り扱いにあたって

- 以下の場合、速やかにバンドの調整・修理をご依頼ください。
 - 腐食により、バンドに異常が認められたとき
 - バンドのピンが飛び出しているとき
- お客様ご自身で時計のバンド（金属やゴム）の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする恐れがあります。（製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く）バンドの調整は、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口にて承っております。その他のお店では 有料もしくは取り扱っていない場合があります。

<温度について>

- 極端な高温 / 低温の環境下では、時計が停止したり、機能が低下する場合があります。製品仕様の作動温度範囲外でのご使用はおやめください。

<磁気について>

- アナログ式クォーツ時計は、磁石を利用した「ステップモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるとモーターの動きがみだされて、正しい時刻を表示しなくなる場合があります。磁気の強い健康器具（磁気ネックレス・磁気健康腹巻など）、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカー部、電磁調理器などに近づけないでください。

<ショックについて>

- ・床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。外装・バンドなどの損傷だけでなく機能、性能に異常を生じる場合があります。

<静電気について>

- ・クォーツ時計に使われているICは、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますので、ご注意ください。

<化学薬品・ガス・水銀について>

- ・化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤およびそれらを含むもの（ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤・撥水剤など）が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には十分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

<保護シールについて>

- ・時計のガラス部分や金属部分（裏ぶた、バンド、中留め）にシールが貼られているときは、ご使用前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

注意 時計は常に清潔に

- りゅうずやプッシュボタンを長期間動かさないままにしていると、付着しているゴミや汚れが固まり、操作できなくなる事がありますので、ときどきりゅうずを空回りさせたり、プッシュボタンを押してください。また、ゴミ、汚れを落としてください。
- ケースやバンドは、肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてご使用ください。
- ケースやバンドは直接肌に接しています。ケースやバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗、または金属、皮革アレルギーなどにより皮膚にかゆみ・かぶれを生じる場合があります。異常を感じたらすぐに使用を中止して医師に相談してください。
- 汗や汚れが付着した場合は、金属材質のバンドやケースは、はけなどを使い中性洗剤で汚れを除去してください。皮革材質のバンドは、乾いた布などで拭き、汚れを除去してください。
- 皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。

時計のお手入れ方法

- ・ ケース・ガラスの汚れや汗などの水分は、柔らかい布で拭き取ってください。
- ・ 金属バンド・プラスチックバンド・ウレタンバンド（ゴムバンド）は水で汚れを洗い落としてください。
金属バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで除去してください。
- ・ 皮革バンドは乾いた布などで拭いて汚れを除去してください。
- ・ 時計を長時間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などをよく拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。

夜光付き時計の場合は

時計の文字板や針には、放射性物質などの有害物質を一切含まない、人体や環境に安全な物質を使用した蓄光塗料が使用されています。

この塗料は太陽光や室内照明（白熱灯を除く）などの光を蓄え、暗い所で発光します。

- ・ 蓄えた光を放出させるため、時間の経過とともに少しずつ明るさ（輝度）は落ちていきます。
- ・ 光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間や蓄光塗料の量などによって、発光する時間に差異が生じます。
- ・ 光が十分に蓄えられていないと、暗い場所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまう場合がありますのでご注意ください。

保証とアフターサービスについて

<保証について>

正常なご使用で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に従い、無料修理いたします。

<修理用部品の保有期間について>

弊社は時計の機能を維持するための修理用部品を、通常7年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・リゅうず・プッシュボタン・バンドなどの外装部品には、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

<修理可能期間について>

弊社の修理用部品の保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なります。修理の可否については、現品をご持参の上販売店でご相談ください。なお、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合があります。

<ご転居・ご贈答品の場合>

保証期間中にご転居されたり、ご贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、弊社お問合せ窓口へご相談ください。

<定期点検（有償）について>

- 防水性能について

防水時計の防水性能は経年劣化しますので、安全に永くご使用いただくために2～3年に一度防水検査を行なっていただくことをお勧めします。防水性能を維持するためには、部品の交換が必要ですので、パッキンなどの交換をご依頼ください。

- 分解掃除（内装修理）について

腕時計を永くご愛用いただくには分解掃除（内装修理）が必要です。歯車などの部品は永くご使用いただくことにより磨耗してしまいますが、これを抑えるために潤滑油を使用しております。しかし経年劣化により潤滑油の汚れなどで部品の磨耗が進み、故障に至ることがあります。目安として5年に一度の分解掃除のご依頼をお勧めします。

<その他お問い合わせについて>

保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買い上げ店または弊社お問合せ窓口へご相談ください。

製品仕様

機種	B877	型式	4 針アナログクォーツ
時間精度	月差± 15 秒 常温（+ 5℃～+ 35℃）携帯時		
水晶振動子	32,768Hz		
IC	C/MOS-LSI（1 個）		
作動温度範囲	－ 10℃～+ 60℃		
表示機能	・時刻：時（ローカルタイム / 時） / 分 / 秒 / 24 時間 ・カレンダー：日		
持続時間	・約 6 ヶ月（充電完了後、一度も充電しないで時計が停止するまで） ・約 3 日（充電警告機能が作動してから時計が停止するまで）		
使用電池	二次電池（ボタン型リチウム電池） 1 個		

付加機能

- ・ 充電警告機能
- ・ クイックスタート機能
- ・ 時刻合わせ告知機能
- ・ 過充電防止機能

製品仕様は、改良のため、予告なく変更することがあります。

<http://citizen.jp/>